

総務省北陸総合通信局の災害支援施策①

臨時災害放送局の開設支援

地方公共団体等による臨時災害放送局(FMラジオ放送局)の開設を支援

臨時災害放送局の概要

北陸総合通信局に1式配備

(全国11カ所の地方局に各1式配備)

- ・臨時災害放送局は、災害発生時に地方公共団体等が開設する臨時FMラジオ放送局(平成7年2月制度化)
- ・具体的には、方法① 総合通信局等から放送用機材の無償貸与を受け開設
方法② コミュニティ放送事業者の既存放送施設を利用して開設※1
- ・放送番組の編成権は、地方公共団体が有する※2
- ・開設手続は、「臨機の措置」として口頭申請にて免許(別途、所定の申請書類の提出が必要)
～地方公共団体とコミュニティ放送事業者間の臨時災害放送局開設協力協定締結を促進～

※1 放送事業者側に発生した費用負担について双方の協議が必要
 ※2 被災地住民への支援及び救援活動等の範囲内

臨時災害放送設備の概要



臨時災害放送設備(一式)

- ・本体大きさ：中型スーツケース約2個分
- ・重量：約40kg
- ・送信出力：10W～100W
- ・アンテナ設置用ポール(1.3m～6m)
- ・受信エリア：(例)送信出力20W、アンテナ高10mで見通しの場合、受信エリアは最大で半径約20km

<特徴>

- ・本体を含む簡易スタジオ設置に要する広さは、約3m四方の小スペース
- ・アンテナの設置は、

- ①庁舎屋上などの既設ポールに据付
- ②広場・運動場等にポールを設置し据付

主な利用シーン

- ・避難生活の支援情報の放送
- ・被災者向け行政手続き等の案内を放送 等

利用時期

発災	応急	復旧
▶		

災害対策用移動電源車

北陸総合通信局に1台配備

- ・電気通信や放送設備の電力供給が途絶した場合などの電力供給を支援



小型移動電源車(4WD乗用車)

発電容量：5.5kVA

配備局：北海道、東北、信越、北陸、東海、近畿、四国



中型移動電源車(2t)

発電容量：80～100kVA

配備局：東海、中国、九州

主な利用シーン

- ・停電中の防災行政無線拡声子局への給電
- ・放送中継局・携帯電話基地局への給電 等

利用時期

発災	応急	復旧
▶		

総務省北陸総合通信局の災害支援施策②

災害対策用移動通信機器の貸与

地方公共団体等への各種移動通信機器の貸出等を通じて災害支援に貢献

簡易無線機

- ・トランシーバー
- ・通信可能距離:見通し2～3km程度、障害物がある場合で数百m程度

北陸総合通信局に15台配備（全国に約900台配備）

主な利用シーン

- ・被災現場と現地指揮所の連絡調整
- ・被災地支援組織内の同報通信 等



IC-D50 (ハンディ)

サイズ：56mm×98.2mm×33mm
重さ：273g
連続運用時間：最大11時間



TCP-D201 (ハンディ)

サイズ：56mm×103.8mm×32.2mm
重さ：277g
連続運用時間：最大7時間

MCA無線機

- ・業務用携帯電話。屋内使用可能
- ・MCAサービス登録エリア内で端末間通話可能

北陸総合通信局に5台配備（全国に約280台配備）

主な利用シーン

- ・災害対策本部と各避難所の同報通信
- ・支援物資中継拠点間の需給調整 等



EK-6170 (ハンディ)

サイズ：約58mm×約35mm×約149mm
重さ：360g
連続運用時間：約18時間

FM807F02 (ポータブル)

サイズ：約200mm×約128mm×約220mm
重さ：3kg
連続運用時間：約11時間



※MCAとは、複数の周波数を複数のユーザーで共同使用して効率的に通信を行う通信機器

衛星携帯電話

北陸総合通信局に6台配備（全国に約300台配備）

主な利用シーン

- ・庁舎や避難所等の状況報告や救助要請
- ・臨時仮設の被災地支援部隊と本部との連絡調整 等

ワイドスターII (据置)

サイズ：約196mm×約180mm
×約39mm
重さ：1.3kg
連続通話時間 2.2時間
連続待受時間 26時間

- ・南方の空が開けている屋外もしくは窓際に設置して利用可能



ICTユニット

北陸総合通信局に1台配備（全国に8台配備）

主な利用シーン

- ・被災地域でWi-Fiによるインターネット環境を構築
- ・避難住民等がスマートフォン等で情報収集・連絡 等

ICTユニット

サイズ：約445mm×約335mm
×約115mm
重さ：6.0kg
駆動時間 約8時間
同時通話数 1台あたり20同時通話



- ・衛星回線・光ファイバ等との接続により、遠隔地との発信が可能
- ・配備局：関東、信越、北陸、東海、近畿、中国、四国、沖縄

【参考】可搬型地デジ中継設備、音声Web配信システムの概要

可搬型地デジ中継設備



主な利用
シーン

- ・ 避難生活の支援情報の放送
- ・ 被災者向け行政手続き等の案内を放送
- ・ 地デジ中継局が被災により機能停止した場合、仮設中継局として開設

音声Web配信システム



【本体】

サイズ：470mm×210mm×360mm

重さ：5.5kg



スマホでQRコードを読み取る。

※ 株式会社アイ・オー・データ機器の協力

主な利用
シーン

災害情報等の音声情報をWebで配信